

## 東洋経済新報社刊行の雑誌記事本文を読もう - magazineplus -

東洋経済雑誌記事閲覧サービスは、原文の表示を目的とした、magazineplus 専用の有料オプションです。本文が読める雑誌は、「週刊東洋経済」「金融ビジネス」「オール投資」「Think!」「一橋ビジネスレビュー」の5誌です。magazineplus で検索しながら記事を読むための、画面遷移を見てみましょう。

事例) 東洋経済新報社刊行の雑誌に掲載された、「アベノミクス」に関する記事を読みたい

### 1. magazineplus を検索します。

- i [タイトル・キーワード]に「【東洋経済】(スペース) アベノミクス」と入力。スペースで語彙をつなげることで、アンド検索になります。  
\*「【東洋経済】」と、墨付きパーレンで括弧することで、原文を持つ東洋経済新報社刊行の記事のみを検索することができます。

- ii [検索]ボタンをクリックします。

〈magazineplus 検索画面〉

### 2. 検索結果一覧から、論文・雑誌記事の詳細情報を表示します。

検索結果の一覧から、興味のある記事にチェックを入れるか、[全てチェックする]ボタンを押して全件にチェックを入れ、[チェックした文献を詳細表示]をクリックします。

〈magazineplus 検索結果一覧画面〉

## 3. 記事を表示する。

- i 6 件目の、「ここがポイント!アベノミクス Q&A」〔「週刊東洋経済」6450 号 2013 年 3 月〕の記事を表示します。
- ii 詳細情報の[リンク]から[東洋経済]ボタンをクリックします。(リンクボタンは、任意の文字列を設定することも可能です。)

▼ 5 MARKET&MACRO  
【東洋経済】市場観測 設備投資-アベノミクス効果はまだだが設備投資は循環的に回復へ  
著者等: 美和卓  
書誌: 週刊東洋経済 // 出版社等: 東洋経済新報社 / 東京 / 週刊 / ISSN:0918-5755 / JapanMarc No.:00010869 / ZD1 / Z3-38 / NDL書誌 ID:000000010791  
巻号等: (6451) / 2013.3.16 // p.32  
リンク: [CiNiiBooks] [Webcat Plus] [東洋経済] [RefWorks]  
注記: 【日外整理No.TK20130316TKW011】(東洋経済新報社作成)

▼ 6 【特集 円安の真】  
【東洋経済】ここがポイント! アベノミクスQ&A  
書誌: 週刊東洋経済 // 出版社等: 東洋経済新報社 / 東京 / 週刊 / ISSN:0918-5755 / JapanMarc No.:00010869 / ZD1 / Z3-38 / NDL書誌 ID:000000010791  
巻号等: (6450) / 2013.3.9 // p.48~49  
リンク: [CiNiiBooks] [Webcat Plus] [東洋経済] [RefWorks]  
注記: 【日外整理No.TK20130309TKW0211】(東洋経済新報社作成)

▼ 7 NEWS&REPORT 02  
【東洋経済】アベノミクスで活況 動き出した高額消費  
書誌: 週刊東洋経済 // 出版社等: 東洋経済新報社 / 東京 / 週刊 / ISSN:0918-5755 / JapanMarc No.:00010869 / ZD1 / Z3-38 / NDL書誌 ID:000000010791

〈magazineplus 検索結果詳細画面〉

MAGAZINEPLUS

「週刊 東洋経済」(2003年2月15日号より)と「オール投資」(2007年8月1日より2012年10月15日まで)は、テキスト版とPDF版の2つの原文リンクをお選びいただけます。

テキスト版 PDF版

【ご参考】収録各誌の掲載タイミング一覧

雑誌名	収録期間	発行頻度	冊子化発売日	更新日
週刊 東洋経済 *	1997年5月31日号～	週刊	月曜日	同左
金融ビジネス	2006年Summer～	年刊	秋頃	同左
オール投資 *	2006年5月1日号～2012年10月15日号	月曜刊	第1, 第3の月曜日 2012年10月15日号で休刊	同左
Think!	2006年Spring～	季刊	1月/4月/7月/10月	同左
一橋ビジネスレビュー	2006年春号～	季刊	3月/6月/9月/12月	同左

※各雑誌の更新時期は、原則として雑誌(冊子)の発売日となります。

読者登録/お問い合わせ (C) 2001 Nichipai Associates, Inc.

- iii 新しいウィンドウまたはタブが開きます。ファイルの形式を、「テキスト版」、「PDF 版」より選びます。ここでは、「PDF 版」をクリックします。

\*「週刊東洋経済」(2003 年 2 月 15 日号～)と「オール投資」(2007 年 8 月 1 日～2012 年 10 月 15 日) 以外は、PDF 版です。

〈ファイル形式選択画面〉

- iv 記事本文が表示されます。

〈記事本文 (PDF) 表示画面〉

ここがポイント!

# アベノミクス Q & A

アベノミクスは、大胆な金融緩和によるインフレと円安の促進が、経済の閉塞状況を打開するとする。しかし、その前提・処方箋には、多くの疑問がある。

■ バブル期でも米国より低い消費者物価上昇率

今年1月、日本銀行は目標を「消費者物価の前年対比で2%とする」として、中長期的なメドとして「プラスの範囲で、当面は1%を目標に据え置く」という方針を打ち出した。安倍政権は、リフレ政策の推進を掲げ、インフレを目標とするという方針を打ち出した。安倍政権は、リフレ政策の推進を掲げ、インフレを目標とするという方針を打ち出した。

Q1 インフレ率2% 達成可能な目標

〈以上〉

\* 検索日は、2013 年 4 月 2 日です。